

- 3) 伊藤重人, 津野宏彰, 井上さやか, 姚立, 古田 勲: 当科における口腔扁平苔癬の臨床病理学的検討—セファランチンの治療効果を含めて. 第28回アルカロイド研究会, 2002, 6, 大阪.
- 4) 古田 勲: 異物を誤嚥してしまった!! 歯科臨床医リフレッシュセミナー, 2002, 7, 三重.
- 5) 伊藤重人: 骨移植とインプラント. 富山県インプラント研究会, 2002, 8, 富山.
- 6) 古田 勲: 咀嚼障害と誤嚥—対処法の検討—. 第3回北陸言語聴覚学術集会, 2002, 9, 富山.
- 7) 古田 勲: インプラントの症例を通じて. 富山県インプラント研究会, 2002, 10, 富山.
- 8) 古田 勲: 嚥下のしくみと誤嚥. 第9回アルペン口腔科学フォーラム, 2002, 11, 富山.

臨床検査医学

教授 北島 勲
 助教授 小方 則夫
 助手 小澤 哲夫

◆ 研究概要

癌, 生活習慣病, 感染症(エンドトキシン血症)等における転写因子異常からみた分子病態研究

◆ 著 書

- 1) 北島 勲, 劉彦, 丸山征郎: マクロファージにおけるToll-like receptor 2.4の遺伝子発現調節機構. エンドトキシン研究5 (望月英陸, 小野聡, 小玉正智, 横地高志, 谷 徹, 編). 医学図書出版株式会社, 東京, 2002, p152-159.
- 2) 小方則夫: Peptide nucleic acid mediated polymerase chain reaction clamping (PMPC)の開発・応用におけるYMDDモチーフ塩基ダイナミクスの解析. (谷川久一, 他) 肝疾患研究の新しい展開第IV巻, メディカルレビュー社, 大阪, 2002, 8.

◆ 原 著

- 1) Shoji Y, Noguchi A, Shoji Y, Matsumori M, Takasago Y, Takayanagi M, Yoshida Y, Ihara K, hara T, Yamaguchi S, Yoshino M, Kaji M, Yamamoto S, Nakai A, Koizumi A, Hokezu Y, Nagamatsu K, Mikami H, Kitajima I, Takada G: Five novel SLC7A7 variants and y+L gene-expression pattern in cultured lymphoblasts from Japanese patients with lysinuric protein intolerance. Hum Mutat 20(5):375-381, 2002.
- 2) Yamahata H, Takeshima H, Kuratsu J, Sarker KP, Tanioka K, Wakimaru N, Nakata M, Kitajima I, Maruyama I: The role of thrombin in the neo-vascularization of malignant gliomas: An intrinsic modulator for the up-regulation of vascular endothelial growth factor. Int J Oncol 20 (5):921-928, 2002.
- 3) Obara S, Nakata M, Takeshima H, Kuratsu J, Maruyama I, Kitajima I.: Inhibition of migration of human cells by ceribastatin in association with focal adhesion kinase (FAK). Cancer Lett. 185(2):153-161, 2002.
- 4) Nishimura S, Nakata M, Matsuo K, Nakajima T, Kitajima I, Saito H, Maruyama

- I: Human lactiferous mammary gland cells produce vascular endothelial growth factor (VEGF) and express the VEGF receptors, Flt-1 and KDR/Flk-1. *Cytokine* 18(4):191-198, 2002.
- 5) Tezono K, Sarker KP, Kikuchi H, Nasu M, Kitajima I, Maruyama I: Bioactivity of the vascular endothelial growth factor trapped in fibrin clots: production of IL-6 and IL-8 in monocytes by fibrin clots. *Haemostasis* 31(2):71-79, 2002.
 - 6) Kainuma M, Ogata N, Kogure T, Kohta K, Hattori N, Mitsuma T, Terasawa K.: The efficacy of a herbal medicine (Mao-to) in combination with intravenous natural interferon-beta for patients with chronic hepatitis C genotype 1b and high viral load: a pilot study. *Phytomedicine* 9:365-372, 2002.
 - 7) Ohkoshi S, Igarashi M, Suda T, Ogata N, Remote development of hepatocellular carcinoma in patients with liver cirrhosis type B serologically cured for HBs antigenemia with long-standing normalization of ATL values. *Dig Dis Sci* 47:2002-2006, 2002.
 - 8) Tanaka Y, Ueda K, Ozawa T, Sakuragawa N, Yokota S, Sato R., Okamura S., Morita M., Imanaka T.: Intracellular Accumulation of Antithrombin Morioka (Cys95Arg), A Novel Mutation Causing Type I Antithrombin Deficiency. *J. Biol. Chem.* 277, 51058-51067, 2002.
 - 9) Akai T, Iizuka H, Kishibe M, Kawakami S, Kobayashi A, Ozawa T.: A Case of Beare-Stevenson Cutis gyrata Syndrome Confirmed by Mutation Analysis of the Fibroblast Growth Factor Receptor 2 Gene. *Pediatr Neurosurg.* 37, 97-99, 2002.
 - 10) 北島 勲, 劉 彦, 丸山征郎: Toll like receptor (TLR)を介する転写因子NF- κ B活性化分子機構とアンチセンスNF- κ Bによるエンドトキシン血症治療法開発. エンドトキシン血症救命治療研究会誌. 5:173-177, 2001.
 - 11) 小澤哲夫: 血栓性疾患の予知・診断に役立つ凝固・線溶検査—遺伝子検査を含む—. *日本臨床検査自動化学会誌.* 27:131-134, 2002.
 - 12) 奥田忠行, 佐藤 啓, 大角誠治, 関根道和, 北島 勲: 健常成人における男女別の血圧・心拍変動スペクトル解析の加齢の検討. *臨床病理.* 50:186-190, 2001.
 - 13) 奥田忠行, 吉田 稔, 川城昭代, 三日市恵子, 北島勲, 福永寿晴: 富山県における12年間の血液ガス分析コントロールサーベイの評価. *臨床検査* 46:1051-1057, 2002.
 - 14) 谷みね子, 川島猛志, 大門良男, 小澤哲夫, 平井忠和, 北島 勲: 新しい可溶性フィブリンモノマー試薬 (オートLIA FM) の検討: 左心耳血栓症診断の有用性. *医学と薬学.* 48(4):600-605, 2002.
- ◆ 総 説
- 1) 北島 勲: 21世紀のエンドトキシン血症. エンドトキシン血症救命治療研究会誌. 5:184-194, 2001.
 - 2) 北島 勲: 繰り返す意識障害発作と成人発症型リジン尿性蛋白不耐症. *Medical Practice* 19:505, 2002.
 - 3) 北島 勲: ポストシーケンス時代の臨床検査最前線. *富山県臨床衛生検査技師会誌.* 28(1):2-11, 2002.
 - 3) 北島 勲: One Point Meno No182:血液, 尿での骨粗鬆症の診断と重症度の判定. *モダンメディア* 48(4):20-26, 2002.
 - 4) 北島 勲: ポストゲノム時代における新しい検査部・臨床検査医学への挑戦. *富山医科薬科大学医学会誌.* 14(1):27-31, 2002.
 - 5) 北島 勲: 転写因子解析を基盤にした疾患分子病態解析検査への挑戦. *Laboratory and Clinical Practice* 20:79-84, 2002.
 - 6) 北島 勲: 軟骨細胞とメカニカルストレス. *Rheumatology. Clinical Update* 8:37-39, 2002.
 - 7) 北島 勲: 遺伝子治療. 臨床に有用な遺伝子検査. *臨床病理レビュー 特集123号:*207-213, 2002.
 - 8) 杉森一仁, 北島 勲: ステロイド誘発性骨粗鬆症. *リウマチ科:*24-30, 2002.
 - 9) 小方則夫: 和漢薬による薬物性肝障害—検査前診断の問題と将来. *臨床検査.* 46:197-200, 2002.
 - 10) 小方則夫: 内科100年のあゆみ (感染症): 敗血症. *日本内科学会雑誌.* 91:2975-2982, 2002.
 - 11) 小澤哲夫: 血栓性疾患の予知・診断に役立つ凝固・線溶検査—遺伝子検査を含む—. *日本臨床検査自動化学会誌.* 27, 131-134, 2002.
 - 12) 北島 勲: 新しい臨床検査医学への挑戦. *鶴陵会会報.* 30:18-19, 2001.
 - 13) 北島 勲: EBM (Evidence based medicine) 実施における臨床検査医の役割. *医報とやま* 1314:6-7, 2002.

- 14) 北島 勲：実験室における至福の瞬間。内藤記念財団時報。70:25, 2002.
- ◆ 学会発表
- 1) Isao Kitajima, Akihiro Iguchi, Ikuro Maruyama: Molecular role of angiogenesis in hepatocellular carcinoma cells through constitutive interleukin-8 gene expression. Angiogenesis in Cancer and Other Diseases: From Genes to Function to Therapy. Keystone Symposia, 2002, Feb8-13, Banff, Canada.
 - 2) Isao Kitajima: Topics of angiogenesis in cancer and other diseases. The 18th International Congress of Clinical Chemistry and Laboratory Medicine, 2002 Oct 20-25, Kyoto.
 - 3) Tetsuo Ozawa, Yuki Tanaka, Tsuneo Imanaka, and Isao Kitajima. Antithrombin Morioka (Cys95Arg) Is Accumulated in the Newly Formed Intracytoplasmic Membrane Structures Without Degradation: An Experimental Study. The 29th World Congress of the International Society of Hematology, August 24-28, 2002, Seoul.
 - 4) Isao Kitajima: Molecular role of tumor angiogenesis through constitutive interleukin-8 gene expression. 5th Endothelome Conference. 2002, Feb 2, (Okayama).
 - 5) 北島 勲：血液凝固と動脈硬化進展のクロストーク。第26回心血管系の調節に関する研究会。2002年2月15日，東京。
 - 6) 北島 勲：転写因子NF- κ B活性化測定DNAチップ開発によるエンドトキシンショック迅速診断。第18回中谷電子計測技術振興財団研究助成講演会。2002年2月22日。
 - 7) 北島 勲：エンドトキシンショック新規診断法開発。シスメックス社研究所研究セミナー。2002年3月4日，神戸。
 - 8) 北島 勲：転写因子解析を基盤にした疾患分子病態検査への挑戦。第12回日本臨床検査医学会春季大会。2002年4月20日，福岡。
 - 9) 北島 勲：慢性関節リウマチの関節破壊とその検査試薬開発。第7回フォーラム富山「創薬」。2002年5月23日，富山。
 - 10) 北島 勲：大学病院マネージメント改革と臨床検査医学講座・検査の将来。鹿児島大学臨床検査医学講座10周年記念会。2002年6月1日，鹿児島。
 - 11) 北島 勲：慢性関節リウマチの骨破壊機構。第19回立山セミナー。2002年7月6日，富山。
 - 12) 北島 勲：これからの臨床検査がめざすもの。遺伝子情報をいかに臨床検査に応用してゆくか。第41回中部医学検査学会。2002年10月5日，富山。
 - 13) 北島 勲：臨床検査医学のコア・カリキュラムへの対応（国立大学）。第49回日本臨床検査医学会総会。2002年11月22日，大阪。
 - 14) 川島猛志，桑原卓美，谷みね子，坂本純子，大門良男，北島 勲：検査評価システムの構築。平成13年度国立大学附属病院医療情報処理部門連絡会議。2002年1月弘前。
 - 15) 矢野彩子，延野真弓，森田未香，角田美鈴，大門良男，北島 勲：デタミナーLPOを用いた過酸化脂質の臨床的有用性についての検討。第41回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会。2002年3月10日，金沢。
 - 16) 延野真弓，森田未香，角田美鈴，大門良男，北島 勲：高Mg血症におけるアルセナゾIII色素を用いた新規カルシウム試薬の有用性。第41回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会。2002年3月10日，金沢。
 - 17) 角口理恵，柴 則子，野手良剛，小澤哲夫，北島 勲：二峰性アルブミンを呈した1家系の異常アルブミン蛋白解析。第41回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会。2002年3月10日，金沢。
 - 18) 扇谷晶子，柴 則子，角口理恵，大門良男，小澤哲夫，北島 勲：RAおよび膠原病患者におけるガラクトース欠損IgG抗体測定の臨床的有用性の検討。第41回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会。2002年3月10日，金沢。
 - 19) 林 史郎，佐竹伊津子，細谷孝子，田村なおみ，大門良男，北島 勲，菅生冒高，藤木 明：ホルター心電図におけるRRとQT時間の相関分析の評価。第41回日本臨床検査医学会東海・北陸支部総会。2002年3月10日，金沢。
 - 20) 森田未香，延野真弓，角田美鈴，林 史朗，大門良男，北島 勲：糖尿病における高感度CRPの有用性。第51回医学検査学会。2002年5月16日，仙台。
 - 21) 角田美鈴，大門良男，北島 勲，大野雅範，木下良治：第51回医学検査学会。2002年5月16日，仙台。
 - 22) 扇谷晶子，柴 則子，角口理恵，大門良男，小澤哲夫，北島 勲：抗ガラクトース欠損IgG抗体測定におけるRAと膠原病の鑑別。第33回富山県臨床衛生検査学会。5月22日，富山。
 - 23) 延野真弓，森田未香，角田美鈴，大門良男，北島 勲：O-CPO法と比較したアルセナゾIII色素

- を用いた新規Ca試薬の有用性. 第33回富山県臨床衛生検査学会. 5月22日, 富山.
- 24) 北島 勲, 小原壮一, 丸山征郎: スタチン系薬剤は神経膠芽腫細胞の浸潤を抑制し, アポトーシスを誘導する. 第43回日本神経学会総会. 2002年5月30日, 札幌.
- 25) 川島猛志, 桑原卓美, 谷みね子, 坂本純子, 扇谷晶子, 大門良夫, 北島 勲: 検査評価システムの機能評価. 日本検査血液学会. 2002年7月6日, 東京.
- 26) 谷みね子, 川島猛志, 坂本純子, 扇谷晶子, 桑原卓美, 大門良夫, 北島 勲, 平井忠和: 新しい可溶性フィブリンモノマー試薬の基礎検討. 日本検査血液学会. 2002年7月6日, 東京.
- 27) 北島 勲, 泉 正和: 検査部門の展開, 各領域における展開. 第21回日本臨床検査医学会, 東海・北陸支部例会. 2002年8月31日, 名古屋.
- 28) 北島 勲, 野島孝之: 臨床検査と医療改革—医療の質の向上と患者中心の医療を目指して. 第10回北陸臨床病理セミナー. 2002年9月8日, 富山.
- 29) 川島猛志, 桑原卓美, 谷みね子, 坂本純子, 扇谷晶子, 大門良夫, 北島 勲: 検査評価システムの活用. 第27回北陸臨床病理集談会, 2002年9月8日, 富山.
- 30) 坂本純子, 奥田忠行, 北島 勲, 山崎勝也: 慢性肝疾患に併発した糖尿病におけるグリコヘモグロビン測定の問題点と現状. 第27回北陸臨床病理集談会, 2002年9月8日, 富山.
- 31) 杉森一仁, 川口善治, 北島 勲, 森田未香, 大森一生, 金森昌彦, 石原裕和, 木村友厚: 整形外科領域における高感度CRP. 第27回北陸臨床病理集談会, 2002年9月8日, 富山.
- 32) 扇谷晶子, 柴 則子, 大門良夫, 小澤哲夫, 北島 勲: RAにおけるMMP-3テスト「BS」とパナクリアMMP-3「プレート」との臨床的有用性の比較検討. 第27回北陸臨床病理集談会, 2002年9月8日, 富山.
- 33) 吉田郁子, 森田未香, 多賀由紀子, 岩城由佳, 野手良剛, 大門良夫, 小澤哲夫, 北島 勲: A群溶レン菌による壊死性筋膜炎の起こした2症例. 第27回北陸臨床病理集談会, 2002年9月8日, 富山.
- 34) 桑原卓美, 坂本純子, 扇谷晶子, 川島猛志, 谷みね子, 大門良夫, 小澤哲夫, 北島 勲: 血小板減少症の鑑別診断と臨床検査.—先天性血小板減少症の1家系を例に—. 第27回北陸臨床病理集談会, 2002年9月8日, 富山.
- 35) 野手良剛, 岩城有佳, 森田未佳. 多賀由紀子, 吉田郁子, 大門良夫, 小澤哲夫, 北島 勲: 第41回中部医学検査学会, 2002年10月6日, 富山.
- 36) 北島 勲, 木村友厚, 谿忠人: 骨関節疾患に薬効を示す漢方薬探索とその転写因子調節機構解明. 平成13年度教育研究学内特別経費実施報告会, 2002年10月15日, 富山.
- 37) 小方則夫, 北島 勲: PMPC-DS法による逆転写酵素YMDD塩基解析系の開発と応用: HBV・HIVの相違と薬剤耐性テスト. 第49回日本臨床検査医学会総会. 2002年11月22日, 大阪.
- 38) 扇谷晶子, 柴 則子, 大門良夫, 小澤哲夫, 北島 勲: 抗核抗体陽性患者RA及び膠原病患者におけるMMP-3, CA.RF検査の臨床的意義. 第49回日本臨床検査医学会総会. 2002年11月24日, 大阪.
- 39) 小澤哲夫, 赤井卓也, 北島 勲: 頭蓋骨早期癒合症におけるFGFR遺伝子解析の臨床的有用性について. 第49回日本臨床検査医学会総会. 2002年11月23日, 大阪.
- 40) 森田未香, 延野真弓, 角田美鈴, 大門良夫, 小澤哲夫, 北島 勲: 糖尿病患者における高脂血症とCRP値との関連. 第49回日本臨床検査医学会総会. 2002年11月23日, 大阪.
- 41) 延野真弓, 森田未香, 角田美鈴, 大門良夫, 北島 勲, 大野雅範, 木下良治: 高濃度Mg検体(血清及び尿)におけるアルセナゾIII法を用いたCa測定の臨床的有用性. 第49回日本臨床検査医学会総会. 2002年11月23日, 大阪.
- 42) 奥田忠行, 松井祥子, 柴原直利, 関根道和, 柴則子, 上野智浩, 大門良夫, 北島 勲: 血液ガス分析における高PCO₂のメーカー間差の検討(ラジオメーター社vs Bayer社) 第49回日本臨床検査医学会総会. 2002年11月24日, 大阪.
- 43) 小方則夫, 北島 勲, 朝倉 均: 遺伝子型C・HBV感染症に対するラミブジン治療効果に關与する要因: HBVカイクイネテイスク, YMDD領域非野生型塩基, 逆転写酵素遺伝子亜型の解析. 第38回日本肝臓学会総会. 2002年6月, 大阪.
- 44) 小方則夫, 島木貴久子, 桑守美千代, 高嶋修太郎, 渡辺明治: ウイルス肝炎対策: B型肝炎ワクチン摂取状況およびHBs抗体評価の問題点. 第40回全国大学保健管理研究総会, 2002年10月, 東京.
- 45) 大越章吾, 高橋達, 市田隆文, 小方則夫: B型慢性肝炎に対するラミブジン1年間投与例の長期予後: 長期投与例との比較. 第88回日本消化器病学会総会, 2002年4月, 旭川.